

# 技術・家庭科

## 1 教科目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

## 2 評価の観点及びその資料

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査</li> <li>・ 小テスト、実技テスト</li> <li>・ 課題や作品 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査</li> <li>・ 課題や作品 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業に取り組む姿勢</li> <li>・ 提出物</li> <li>・ 自己評価シート など</li> </ul>

### ○観点別学習状況の評価

教科で定められた観点の目標に照らして達成状況を ABC の3段階で評価してあります。目標に準拠した評価（絶対評価）です。

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| A 十分に満足できると判断されるもの  | 達成率が80%以上のもの      |
| B おおむね満足出来ると判断されるもの | 達成率が50%以上80%未満のもの |
| C 努力を要すると判断されるもの    | 達成率が50%未満のもの      |

### ○評定

教科の観点ごとの達成率（％）を合計し、観点数で割って教科としての達成値（％）を求めます。その達成値により5、4、3、2、1の5段階で評定してあります。目標に準拠した評価（絶対評価）です。

- |                                 |                   |
|---------------------------------|-------------------|
| 5 十分に満足出来ると判断されるもののうち、特に高い程度のもの | 達成率が90%以上のもの      |
| 4 十分に満足できると判断されるもの              | 達成率が80%以上90%未満のもの |
| 3 おおむね満足出来ると判断されるもの             | 達成率が50%以上80%未満のもの |
| 2 努力を要すると判断されるもの                | 達成率が20%以上50%未満のもの |
| 1 一層努力を要すると判断されるもの              | 達成率が20%未満のもの      |

技術・家庭科（技術分野）年間指導計画（7学年35時間、8学年35時間、9学年17.5時間）

	7学年	8学年	9学年
1 学期	≪材料と加工に関する技術≫ 技術と私たちの生活  ものづくりの工夫と進め方 ・木材の特徴 ・設計の進め方 ・製図  本棚（ラック）の製作 ・製図 ・けがき	≪エネルギー変換に関する技術≫ 私たちの生活とエネルギー ・エネルギーとエネルギー変換 ・エネルギー資源の種類  エネルギー変換と利用 ・電気エネルギー ・電気機器への利用	≪生物育成に関する技術≫ 私たちの生活と生物育成 ・環境要因 ・土づくり、肥料 ・育苗  創意・工夫作品の製作 ・模型の設計 ・模型の製作
2 学期	・切断 ・切削 ・穴あけ ・部品の検査 ・組み立て ・表面と角の仕上げ ・塗装	≪生物育成に関する技術≫ 私たちの生活と生物育成 ・環境要因 ・土づくり、肥料 ・社会・環境とのかかわり	・水産生物 ・動物 ・社会・環境とのかかわり  創意・工夫作品の製作 ・模型の製作 ・自己評価と振り返り
3 学期	≪情報に関する技術≫ コンピュータと情報処理 ・コンピュータの構成 ・ネットワークの構成 ・情報通信ネットワーク ・情報セキュリティ ・情報モラルと知的財産	≪情報に関する技術≫ プログラムによる計測・制御 ・計測・制御システムの構成 ・センサと計測・制御 ・プログラムとフローチャート ・マイクロビットの制御	≪情報に関する技術≫ デジタル作品の設計と制作 ・生活の中のメディア ・デジタル作品の構想 ・情報の収集と加工 ・作品の制作、発表

## 技術・家庭科（家庭分野）

令和8年度 年間指導計画

（7学年 35 時間、8学年 35 時間、9学年 17.5 時間）

	7学年	8学年	9学年
1 学期	《食生活》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食事の役割</li> <li>・ 栄養の種類と働き</li> <li>・ 献立作りと食品選択</li> <li>・ バランスの良い食事</li> <li>・ 生鮮食品と加工食品</li> </ul>	《衣生活》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衣服の働き</li> <li>・ T.P.O.を考えた自分らしい着方</li> <li>・ 布を使った作品製作</li> <li>・ ミシン縫いの基礎技能</li> </ul> 《食生活》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常食の調理</li> </ul>	《保育》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児の体の発達、心の発達</li> <li>・ 幼児の基本的な生活習慣</li> <li>・ 幼児の食生活と衣生活</li> <li>・ 幼児のおやつ作り</li> </ul>
2 学期	《食生活》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食品の選択と保存</li> <li>・ 実習計画</li> <li>・ 野菜、いも、魚、肉の調理</li> <li>・ 行事食と郷土料理</li> <li>・ 持続可能な食生活をめざして</li> </ul>	《衣生活》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 布を使った作品製作 自分らしく工夫する</li> <li>・ 衣服の手入れ</li> <li>・ 既製服の表示</li> <li>・ 持続可能な衣生活をめざして</li> </ul>	《保育》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児の生活と遊び</li> <li>・ 幼児とのふれあい</li> <li>・ 幼児との関わり方</li> <li>・ 手作りおもちゃの製作</li> <li>・ 幼児とのふれあいに必要な道具作り</li> </ul>
3 学期	《住生活》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住まいの役割</li> <li>・ 生活行為と住空間</li> <li>・ 健康で快適な室内環境</li> <li>・ 住まいの安全</li> <li>・ 持続可能な住生活をめざして</li> </ul>	《消費生活と環境》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消費者としての自覚</li> <li>・ 販売方法・支払い方法と計画的な金銭管理</li> <li>・ 商品の選択と購入</li> <li>・ 消費者の権利と責任</li> <li>・ 環境に配慮した生活</li> <li>・ 持続可能な消費生活をめざして</li> </ul>	《家族・家庭生活》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもにとっての家族</li> <li>・ 高齢者との関わり地域での協働</li> </ul> 《まとめ》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年間の家庭科の学習を振り返る</li> <li>・ 自分史新聞作成</li> </ul>